



# 西脇市サポートリーフレット

このリーフレットは、お子さまが学校に行くことに不安や行きづらさを感じたとき、まずどのように関わればいいのか、どこに相談できるのか、そして利用できる支援にはどんなものがあるのかをまとめたものです。「どうしたらいいのだろう…」と思ったときに、少しでも安心して歩みを進められる手がかりとして、ご活用ください。

## ①どのように関わればいいのか？

**しっかり様子を観察する**

- ・朝の支度に時間がかかる
- ・お腹や頭の痛みを訴える
- ・表情が曇っている

⇒いつもと違うサイン

**安心できる声かけをする**

- ・「どうしたのかな？しんどい気持ちがあるんだね」
- ・「無理に言わなくてもいいよ。ゆっくりで大丈夫」

**登校への気持ちを確認する**

- ・「学校に行きたい気持ちある？」
- ・「行けそう？それとも難しそう？」

⇒本音を聴く姿勢を大切に

**行けない場合の対応**

- ・学校に状況を連絡する

⇒朝の時点で「行き渋りがある」ことを伝えるのは大切

- ・家で安心して過ごせる環境をつくる
- ・落ち着いたタイミングで話を聞く

**行けそうな場合の対応**

- ・玄関まで一緒に行く
- ・途中まで送る
- ・教室ではなく、校内サポートルームや保健室に行く

⇒学校に連絡して、子どもが安心できる受け入れ方を検討

**学校と今後の対応を検討**

- ・校内サポートルーム利用や段階的な登校について相談
- ・担任や関係教職員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーとの連携
- ・友だち関係や学習の不安への支援

**大切なのは「安心の回復」**

行き渋りは、「行かせれば解決する」問題ではありません。

安心が戻る → 少しずつ動き出せる

⇒この順番がポイント

**必要に応じて専門機関へ**

- ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる相談
- ・青少年センターの教育相談
- ・市福祉部局、こども家庭センターの相談
- ・医療機関（小児科・児童精神科）

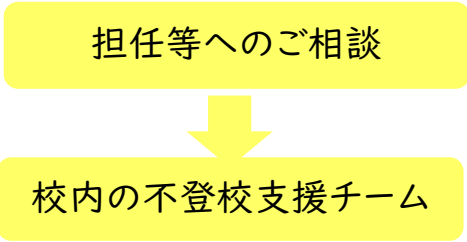
## ②だれに相談すればいいの？

お子さまが、学校に行きづらかったり、休みがちになったりした場合、まずは、お子さまの状況について、担任の先生にご相談ください。お子さまの状況を最も把握している担任が、ご家庭と連携をとりながら、今後の支援方法を一緒に考えていきます。また、定期的にスクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)が来校していますので、お子さまや保護者の方が面談を希望することができます。さらに、市の青少年センターでも教育相談を行っています。

### 担任等による相談

各学校では『不登校支援プラン』を作成しています。担任等、関係教員に相談後、担任・関係教員やスクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)等の専門家も含めた“不登校支援チーム”で、お子さまの状態を確認し、どのような支援ができるか検討します。その際、登校できそうな場合、登校できそうにない場合を想定し、支援方法を考えていきます。このような支援体制をお子さま本人やご家庭とも共通理解を図り、見通しをもてるようにしていきます。

また、校内サポートルームの活用やはればれ教室への通級についても検討を行い、お子さまにとって安心できる学びの場を考えていきます。



### スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる教育相談

各学校では、定期的にスクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)が来校し、教育相談の体制を整えています。相談は、お子さまのみ、保護者のみ、またはお子さまと保護者が同時でもご利用いただけます。学校と専門職が連携して、より適切な支援を検討します。相談日は、学校だより等でお知らせしていますが、ご不明な点は学校へお問い合わせください。

#### 専門職であるSCとSSWの役割って？

スクールカウンセラー(SC)	スクールソーシャルワーカー(SSW)
心理に関して専門的な知識・経験を有する者 (公認心理師等)	福祉に関して専門的な知識・技術を有する者 (社会福祉士、精神保健福祉士等)
児童生徒・保護者の心理的な悩みに対するカウンセリング及び保護者・教職員に対する助言や援助	児童生徒・保護者が置かれた様々な環境の問題への社会福祉技術に基づく働きかけ
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>学校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>助言・援助</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>本人</p> </div> </div> <p>★子どもをケアすれば前進しそうな状況</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>学校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>連携・調整</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>関係機関</p> </div> </div> <p>★子どもだけでは改善できない社会的・家庭的状況</p>

### 青少年センターにおける教育相談

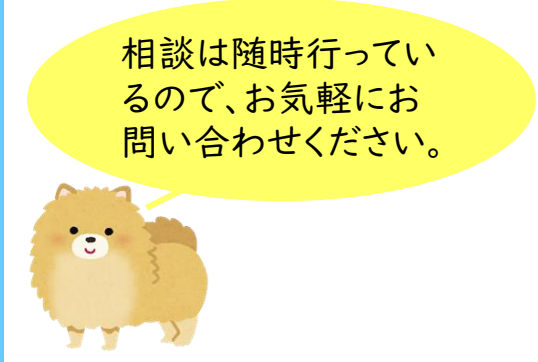
お子さまのことでお困りのときに、臨床心理士(カウンセラー)や青少年センターの教育相談員による相談を随時受け付けています。相談は個別に行いますので、希望される方は学校または青少年センターまでご連絡ください。

#### 【教育相談】

- ・ 来所、電話
- ・ 月曜日～金曜日(午前9時～午後5時)
- ・ 教育相談員が随時対応

#### 【臨床心理士によるカウンセリング】

- ・ 要予約
- ・ 毎週木曜日
  - ① 9時30分～ ② 11時～
  - ③ 13時30分～ ④ 15時～



相談は随時行っているので、お気軽にお問い合わせください。

フォームでの受付



### ③教室以外の学びの場

子ども一人一人の思いや状況に寄り添った学びの場として、西脇市では『校内サポートルーム』と『はればれ教室』を設けています。校内サポートルームは、学校内にあり、教室に入りにくい、または学校に行きづらい子どもを対象に、サポートルーム支援員が学習支援や生活支援を行います。はればれ教室は、市の青少年センター内に設置しており、主に教員OBの相談員が支援を担当します。ほかにも、県の施設の『やまびこの郷』やフリースクール等の民間施設があります。

#### 学校

##### 校内サポートルーム

校内サポートルームは、学習面や生活面の支援を行い、安心して過ごせる環境を提供するために設置している学校内の支援スペースです。利用については、お子さま本人や保護者の希望を踏まえ、校内の不登校支援チームで協議したうえで決定いたします。サポートルームでは、サポートルーム支援員をはじめ、担任、教科担当教員、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)などが連携し、必要に応じて関係機関とも協力しながら支援を行います。

利用を希望される場合は、まず担任または学校の相談窓口までご連絡ください

##### サポートルーム支援員って？

校内サポートルームにおいて、不登校児童生徒等に応じた学習支援及び生活に関する支援、通常学級における支援・見守り等を行っています。



#### 青少年センター

##### はればれ教室

はればれ教室は、子どもが心を落ち着け、元気を取り戻し、自分のペースで学びながら学校生活や社会へと再び踏み出せるように支援する場所です。西脇市教育委員会が設置している公的な支援施設で、安心して利用いただけます。教室は、毎週月曜日から金曜日の9時～15時に開設しています。1日の過ごし方は、子ども自身がその日の気持ちや体調に合わせて決められるようにしています。

下記は、一般的な1日の流れの参考例です  
【参考】

- 9時～10時 学習準備・リラックスタイム
- 10時～12時 学習タイム
- 12時～13時 昼食(お弁当)・自由時間
- 13時～14時45分 ふれあいタイム
- 14時45分～15時 掃除・一日のふりかえり



希望される場合は、学校の相談窓口までご連絡ください。



#### 兵庫県立

##### 但馬やまびこの郷

但馬やまびこの郷は、不登校または不登校傾向にある小・中学生とその保護者を支援するために設置された公的な施設です。豊かな自然に囲まれた環境の中で、自然体験や地域との交流、集団での活動などに取り組みながら、子どもが自分のペースで元気を取り戻し、社会的に自立していく力を育むことをめざしています。



#### フリースクール等の民間施設

安心できる環境の中で少しずつ自信を育み、学校や社会へ再び踏み出す力を身につけられるよう支援しています。また、こうした民間施設での学習については、一定の条件を満たした場合、学校での「出席扱い」とすることが可能です。(活動内容・安全性・学校との連携状況等、総合的に判断)

利用についてわからないことや不安な点がありましたら、まずは学校へご相談ください。

